

医療システム部会 全体活動報告

目次

・体制	2
・電子カルテ委員会	10
・検査システム委員会	14
・部門システム委員会	20
・セキュリティ委員会	24
・相互運用性委員会	28

2018年2月2日
医療システム部会
副部会長 湯澤 史佳

体制

診療業務支援

電子カルテ委員会

- ・患者安全が伴った専門委員会
- －患者安全が伴った輸血編WG

検査システム委員会

- －放射線治療WG
- －検査レポート検討WG
- －DICOM WG
- ・臨床検査システム専門委員会
- －臨床検査データ交換規約改定作業WG
- －POCTデータ交換標準化検討WG
- ・内視鏡部門システム専門委員会
- ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会

部門システム委員会

- ・病棟業務支援システム専門委員会
- ・物流システム専門委員会

セキュリティ委員会

- －電子保存WG
- －監査証跡WG
- －HPKI電子署名規格作成WG
- －セキュアトークンWG
- －JAHIS-JIRA合同リモートサービスセキュリティ作成WG
- －シングルサインオンWG
- －JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
- －教育事業WG

相互運用性委員会

- ・メッセージ交換専門委員会
- －HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- －HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- －病名情報メッセージ交換標準化WG
- －生理検査メッセージ交換標準化WG
- －注射処置標準化WG
- －データ交換規約共通編作成WG
- －PCD-WG
- ・データ互換性専門委員会

横串機能

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	部会長	藤岡 宏一郎	(株)日立製作所
〃	副部会長	下邨 雅一	富士通(株)
〃	副部会長	亀井 正昭	日本電気(株)
〃	副部会長	湯澤 史佳	キャノンメディカルシステムズ(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
電子カルテ委員会	委員長	井上 貴宏	富士通(株)
〃	副委員長	岡 和彦	キャノンメディカルシステムズ(株)
〃	副委員長	新垣 淑仁	日本電気(株)
患者安全ガイド専門委員会	専門委員長	高山 和也	富士通(株)
患者安全ガイド輸血編WG	リーダー	高山 和也	富士通(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
検査システム委員会	委員長	藤咲 喜丈	日本光電工業(株)
//	副委員長	河野 努	日本光電工業(株)
//	副委員長	鈴木 昭俊	(株)ニコン
//	副委員長	千葉 法俊	アイテック阪急阪神(株)
放射線治療WG	リーダー	香坂 浩之	エレクタ(株)
検査レポート検討WG	リーダー	平井 正明	日本光電工業(株)
DICOM WG	リーダー	近藤 恵美	サクラファインテックジャパン(株)
臨床検査システム専門委員会	専門委員長	千葉 法俊	アイテック阪急阪神(株)
臨床検査データ交換規約改定作業WG	リーダー	千葉 信行	(株)エイアンドティー
POCTデータ交換標準化検討WG	リーダー	三沢 泰一	ラジオメーター(株)
内視鏡部門システム専門委員会	専門委員長	河野 努	日本光電工業(株)
病理・臨床細胞部門システム専門委員会	専門委員長	鈴木 昭俊	(株)ニコン
//	副専門委員長	近藤 恵美	サクラファインテックジャパン(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
部門システム委員会 //	委員長 副委員長	大串 英明 藤咲 喜丈	富士通(株) 日本光電工業(株)
病棟業務支援システム専門委員会 //	専門委員長 副専門委員長	藤咲 喜丈 安藤 智昭	日本光電工業(株) (株)ケアコム
物流システム専門委員会 //	専門委員長 副専門委員長	大串 英明 岩嶋 有里	富士通(株) NECソリューションイノベータ(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
セキュリティ委員会	委員長	茗原 秀幸	三菱電機(株)
〃	副委員長	梶山 孝治	(株)日立製作所
〃	副委員長	江崎 智	日本電気(株)
電子保存WG	リーダー	江崎 智	日本電気(株)
監査証跡WG	リーダー	西田 慎一郎	(株)島津製作所
HPKI電子署名規格作成WG	リーダー	茗原 秀幸	三菱電機(株)
セキュアトークンWG	リーダー	谷内田 利義	(株)リコー
JAHIS-JIRA合同 リモートサービスセキュリティ作成WG	リーダー	松本 義和	サイバートラスト(株)
シングルサインオンWG	リーダー	山岡 弘明	富士通(株)
JAHIS-JIRA合同 開示説明書WG	リーダー	下野 兼揮	(株)グッドマン
教育事業WG	リーダー	村田 公生	富士フイルム(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
相互運用性委員会	委員長	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
//	副委員長	中田 英男	日本電気(株)
//	副委員長	窪田 成重	富士通(株)
メッセージ交換専門委員会	専門委員長	中田 英男	日本電気(株)
//	副専門委員長	下邨 雅一	富士通(株)
//	副専門委員長	平井 正明	日本光電工業(株)
//	副専門委員長	高坂 定	(株)メディック総研
HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG	リーダー	窪田 成重	富士通(株)
HIS-RISメッセージ交換標準化WG	リーダー	塩川 康成	キヤノンメディカルシステムズ(株)
病名情報メッセージ交換標準化WG	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
生理検査メッセージ交換標準化WG	リーダー	吉村 尚郎	日本光電工業(株)
注射処置標準化WG	リーダー	西岡 太郎	日本電気(株)
データ交換規約共通編作成WG	リーダー	中田 英男	日本電気(株)
PCD-WG	リーダー	藤咲 喜丈	日本光電工業(株)
データ互換性専門委員会	専門委員長	山口 慶太	(株)日立製作所

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	運営幹事	松尾 仁司	(株)日立製作所
//	事務局	中村 斉	JAHIS
//	事務局	谷口 浩一	JAHIS

電子カルテ委員会

患者安全ガイド専門委員会
患者安全ガイド輸血編WG

(1) JAHIS標準類の策定

- ・JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(病理編)の新規策定
- ・JAHIS患者安全ガイドライン(注射編)のバージョンアップ

(2) EHR System Functional Modelの日本対応に向けた調査

- ・EHRシステム機能モデル検討TFに参加
- ・POP、AS、RI、TIの主要項目の翻訳、課題になりそうな箇所のピックアップ
- ・日本向けに取捨選択した、機能モデル案の作成

(3) 電子処方せん検討への参加

(4) クリニカルパスの標準化に向けた検討への参加

- ・日本医療情報学会と日本クリニカルパス学会が立ち上げた、クリニカルパスの標準化やデータ分析等を検討する合同委員会と連携し、ベンダーの立場から標準化に関する意見具申を行う

(1) JAHIS標準類の策定

- ・JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(病理編)の策定
- ・JAHIS患者安全ガイドライン(注射編)のバージョンアップ
- ・JAHIS患者安全ガイドラインの拡充

(2) 電子処方せん検討への参加

- ・医療機関WGのとりまとめを行い、電子処方せん実装ガイド(医療機関編)の見直し。
- ・電子処方せん実装ガイドの改版。

(3) クリニカルパスの標準化に向けた検討

- ・日本医療情報学会と日本クリニカルパス学会が立ち上げた、クリニカルパスの標準化やデータ分析等を検討する合同委員会と連携し、ベンダーの立場から標準化に関する意見具申を行う。
- ・合同委員会から提案されたパス分析に関する出力データモデルに関して、各ベンダーの意見とりまとめと実装ガイドの作成。

検査システム委員会

放射線治療WG

検査レポート検討WG

DICOM WG

臨床検査システム専門委員会

臨床検査データ交換規約 改定作業WG

POCTデータ交換標準化検討WG

内視鏡部門システム専門委員会

病理・臨床細胞部門システム専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に寄与する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施

(2) 海外活動強化

国内活動にグローバルトレンドを反映させるため、DICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・発信の強化

(3) IHEとの連携や支援の強化

関連技術委員会との技術情報の共有・調整と各種イベントの支援実施

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- ・内視鏡データ交換規約、放射線治療データ交換規約の改訂・発行
- ・病理・臨床細胞DICOM画像データ規約改訂作業、放射線治療レポート構造化記述規約の検討作業に着手
- ・学術集会等で制定済JAHIS標準文書の普及促進活動を実施

(2) 海外活動強化

- ・IHE-Internationalスポンサー活動として5月にJAHISでIHE-PaLM開催、11月のEU会議に出席、最新情報の収集と日本意見の発信を行った
- ・DICOM対応としてDSC、WG-13(Visible Light)、WG-26(Pathology)に参画し、最新動向の収集、情報発信を行った(9月にJAHISでも開催)
また、投票案件等に関し、関係委員会・団体と検討、意見発信を行った

(3) IHEとの連携や支援の強化

- ・日本のコネクタソンにおける審査員要請・審査対応
- ・IHE企画委員会等との定期交流を通じ、学術及び臨床ユーザとの交流により、現場意見の取り入れ等の実現

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

引き続き、院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

引き続き、国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・発信の強化

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供

部門システム委員会

病棟業務支援システム専門委員会
物流システム専門委員会

(1) 部門システムの課題解決、標準化活動の推進

- ①基幹システムと病棟看護、部門システム連携モデルのまとめ
- ②患者安全施策に関する他委員会との連携強化(特に電子カルテ委員会)

(2) 看護業務及びチーム医療の効率化、患者安全施策の推進

- ①看護・関連マスタ、用語集などの積極的活用、事例収集
- ②病棟設置機器や設備管理システム等との連携検討、標準化
- ③病棟関連標準化活動の推進

(3) 物流業務の効率化、標準化の推進

- ①HIS向け医療材料マスターの提供ガイドの改版、普及推進
- ②関係団体との協調活動の推進

(1) 部門システムの課題解決、標準化活動の推進

① 基幹システムと病棟看護、部門システム連携モデルのまとめ

各部門システムと電子カルテシステムとの連携を中心に、データやモノの連携・流れをまとめ、教育事業の教材や「**四訂版医療情報システム入門**」に反映。

② 患者安全施策に関する他委員会との連携強化(特に電子カルテ委員会)

基幹システムと部門システムの連携における、患者安全に関する課題の検討を開始。

③ その他 各部門システムの知識を深め、課題を検討するため、有識者による勉強会を開催。

(2) 看護業務及びチーム医療の効率化、患者安全施策の推進

① 看護・関連マスタ、用語集などの積極的活用、事例収集

MEDIS-DC「看護実践用語標準マスタ」の策定に参加。セミナー座長などを派遣し、普及活動へ協力。

② 病棟設置機器や設備管理システム等との連携検討、標準化

病棟で使用される医療機器やナースコールシステムなどの連携について、調査確認を実施。課題の確認、標準化に関しての検討を行った。

③ 病棟関連標準化活動の推進 勉強会に協力し、関連システムの課題抽出などを行った。

(3) 物流業務の効率化、標準化の推進

① HIS向け医療材料マスターの提供ガイドの改版、普及推進 ガイドを関係団体に紹介。

② 関係団体との協調活動の推進

「医療製品識別とトレーサビリティ推進協議会」にオブザーバとして参加。また、「医療機器標準コードマスタ等検討委員会」および同WGに委員として参加。システムベンダとしての対応を実施。

(1) 病棟看護、部門システムの課題抽出、標準化活動の推進

- ①部門システムの整理と標準化推進
- ②患者安全施策等に関する取組
- ③部門システムの普及・推進

(2) 病棟看護業務の効率化、患者安全施策の推進

- ①看護・関連マスタ、用語集などの事例収集、積極的活用
- ②病棟に関連したシステム連携の整理・標準化

(3) 物流業務の効率化、標準化の推進

- ①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進
- ②医療材料の流通における病院内ICTの検討

セキュリティ委員会

電子保存WG
監査証跡WG
HPKI電子署名規格作成WG
セキュアトークンWG
JAHIS-JIRA合同
 リモートサービスセキュリティ作成WG
シングルサインオンWG
JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
教育事業WG

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改訂

- ・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対する、JAHIS標準類のタイムリーな追従、改定を実施する。

(2) リモートサービスセキュリティガイドラインのISO規格改定

- ・JAHIS標準「リモートサービスセキュリティガイドラインVer.3.0」との整合性を確保すべく、ISO TS11633-1, TR11633-2の改定作業を推進する。

(3) HPKI電子認証ガイドラインをISO化するための活動

- ・HPKI電子認証ガイドラインをベースとするISO17090-5についてISOにおけるFDIS投票を実施する。今年度中の出版を目指す。

(4) HPKIカード、ノード認証・機器認証などのセキュアトークンに関する検討

- ・既存のHPKI対応ICカードガイドラインが分冊化されているため、最新の動向を追加した上で統合を図る。
- ・ノード認証、施設認証、機器認証などの関係を整理し会員各社への啓発を図る。

(5) HPKI電子署名の規格改訂

- ・HPKI電子署名規格についてPAdES編の発行、ならびに電子処方箋のXML署名に対応するための改訂作業を実施する。

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改訂

- ・JAHIS標準17-006「JAHIS「製造業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイドVer.3.0a」改定、JAHIS標準17-008「JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドラインVer.3.3」改定を実施した。

(2) リモートサービスセキュリティガイドラインのISO規格改定

- ・ISO TS11633-1についてはJAHIS標準との整合性を確保したままDTS投票版を策定。(現在各国による投票中)
- ・TR11633-2のJAHIS標準と整合を取った改定方針についてISO/TC215WG4にて合意した。

(3) HPKI電子認証ガイドラインをISO化するための活動

- ・ISO17090-5としてJAHIS標準と整合性を保った国際標準(IS)として出版された。

(4) HPKIカード、ノード認証・機器認証などのセキュアトークンに関する検討

- ・HPKI対応ICカードガイドラインの統合と最新化を目的として「JAHIS HPKI対応ICカードガイドラインVer.3.0」を策定した。(現在パブリックコメント中)
- ・JAHIS技術文書17-105「JAHISセキュアトークン実装ガイド・ノード認証編Ver.1.1」改定によりノード認証と機器認証の関係の整理を完了した。

(5) HPKI電子署名の規格改訂

- ・JAHIS標準17-005「ヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格PAdeS編Ver.1.0」を策定した。
- ・二つの電子署名規格(12-003と17-005)を統合し、電子処方箋のXML署名方式を追加した「ヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0」への改訂作業を実施中。

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改訂

・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対する、JAHIS標準類のタイムリーな追随、改定を実施する。

(2) リモートサービスセキュリティガイドラインのISO規格改定

・JAHIS標準「リモートサービスセキュリティガイドラインVer.3.0」との整合性を確保すべく、ISO TR11633-1,2の改定作業を行い、TR11633-1のTS化を推進する。

(3) HPKI電子署名規格Ver.2.0をISO化するための活動

・現在策定中の「ヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0」をISO17090-4の改定に組み込む。

(4) HPKIカード、ノード認証・機器認証などのセキュアトークンに関する検討

・既存のHPKI対応ICカードガイドラインが分冊化されているため、最新の動向を追加した上で統合を図る。

・ノード認証、施設認証、機器認証などの関係を整理し会員各社への啓発を図る。

(5) 電子処方せん実装ガイド改定におけるセキュリティ関連の協力

・電子処方せん実装ガイドの電子署名方式などのセキュリティ部分の策定にTFを通じて協力する。

相互運用性委員会

メッセージ交換専門委員会

- HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- 病名情報メッセージ交換標準化WG
- 生理検査メッセージ交換標準化WG
- 注射処置標準化WG
- データ交換規約共通編作成WG
- PCD-WG

データ互換性専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通課題(患者プロフィール情報の標準化、文字コード、HL7のバージョンなど)に取り組み、その結果をデータ交換規約(共通編)や必要に応じて個別編に反映する。
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行い、より実践的なものにすべく機能拡張を図っていく。
- これまで十分な検討がされていない新たなテーマについては、部会や委員会を超えて合同で検討を行う。
- 電子処方せん実装ガイドについても、実運用に向けた取り組みを継続する。

(2) 実装システムの検証

- 過去11年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHIS実証実験を継続する。
- 各種ツールの整備やテーマの拡大も図る。

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。

(1) JAHIS標準類の策定

～ 制定済 ～

① 電子処方せん実装ガイド Ver.1.0

3部会7委員会が参加し、2017年5月にJAHIS技術文書として**制定済**

② 放射線データ交換規約 Ver.3.1C HELICS指針(HS016)

国際的な整合性に配慮して患者到着通知の見直しを行い、2017年4月にJAHIS標準として**制定済**

③ 内視鏡データ交換規約 Ver.3.1C

放射線データ交換規約と整合性を取り、2017年4月にJAHIS標準として**制定済**

④ 処方データ交換規約 Ver.3.0C HELICS指針(HS022)

「データ交換規約(共通編)」の分冊化、JAMI標準用法規格への対応、処方実施情報への対応等を行い、2017年7月にJAHIS標準として**制定済**

⑤ 注射データ交換規約 Ver.2.1C

患者プロフィールをLOINCで表現し、2018年1月にJAHIS標準として**制定済**

(1) JAHIS標準類の策定

～ JAHIS標準制定プロセスに則り、作業中 ～

④ 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

ICD-10 2013年版に対応し、年度内にJAHIS標準として原案完成予定

⑤ 電子処方せん実装ガイド Ver.1.1

日本薬剤師会と協力してCDA記述仕様関係の課題解決を図る予定

(2) 実装システムの検証

① 「JAHIS実証実験2017」の開催

- 実施期間：平成29年 9月25日～ 9月29日
- 実施場所：東京都立産業貿易センター 台東館
- 実施テーマ：
 - ①患者情報(アレルギー) ②処方情報(オーダ/実施)
 - ③注射情報(オーダ/実施)



全社合格

- 主なトピック：
 - (1) 処方データ交換規約 Ver.3.0C、JAMI 標準用法規格への対応
 - (2) 注射データ交換規約 Ver.2.1C(原案)の主な変更点の検証

- 参加会社：
ソフトウェア・サービス, 日本電気, 日本アイ・ビー・エム, 日立製作所

② 「HL7メッセージ作成支援ツール Ver.1.7」の作成(予定)

- 基本データセットの値を入力するとHL7メッセージを出力するExcelツール
- JAHIS実証実験の審査支援ツールをベースに作成

(3) 標準化の普及推進

- ① 日本医療情報学会(標準策定・維持管理部会)、SS-MIX普及推進コンソーシアム、日本HL7協会、日本IHE協会等との連携
 - SS-MIX2の仕様書やIHE-JのTF基本仕様へのデータ交換規約の採用
 - SS-MIX2仕様策定会議への委員派遣
 - PMDA「臨床検査結果の取り扱いに関する意見交換会」への委員派遣
 - 日本歯科医師会「平成29年度歯科情報の利活用及び標準化普及事業」への委員派遣
- ② JAHIS実証実験の成果や各種ツールのHPでの公開
 - 1) JAHIS実証実験の報告(2010～2017)
 - 2) HL7メッセージ作成支援ツール(Ver.1.2～Ver.1.7)
 - 3) HL7辞書ユーティリティ(Ver.1.0～Ver.1.2)
- ③ 日本病院薬剤師会との共同セミナーの開催

2018年1月29日にJAHIS会議室にて開催

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通課題(患者プロフィール情報やオーダ付帯情報の標準化、文字コード、HL7のバージョンなど)に取り組み、その結果をデータ交換規約(共通編)や必要に応じて個別編に反映する。
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行い、より実践的なものにすべく機能拡張を図っていく。
- これまで十分な検討がされていない新たなテーマについては、部会や委員会を超えて合同で検討を行う。
- 電子処方せん実装ガイドについても、実運用に向けた取り組みを継続する。

(2) 実装システムの検証

- 過去12年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHIS実証実験を継続する。
- 各種ツールの整備やテーマの拡大も図る。

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました